

【議員定数等調査特別委員会報告書 調査資料】

臼杵市議会の議員定数等の状況と県内他市町比較	・・・	1
臼杵市の人口推計	・・・	3
意見交換会后 議員定数等に関するアンケート集計結果	・・・	4
議員定数等に関する議員アンケート（集計）	・・・	7

臼杵市議会の議員定数等の状況と県内他市町比較

① 臼杵市議会議員定数の推移

年月	議員定数
平成17年1月	38
平成18年4月	26
平成22年4月	23
平成26年4月	18
現状	18

② 臼杵市議会議員選挙の状況

投開票日	定数	立候補者数
H18.4.23	26	32
H22.4.25	23	23
H26.4.20	18	23
H30.4.22	18	22
R4.4.24	18	21

③ 県内各市の議員定数及び報酬、歳出に占める議会費割合の状況

自治体名	人口 (R6.12.31) (人)	議員定数(人)		議員1人当 たり人口	議員報酬 (一般議員) (円)	※参考 総務省HP 令和5年度決算カード参照 (千円)		
		現状	最近又は今後 の改正時期			現状	市全体歳出合計	議会費
臼杵市	33,266	18		1,848	350,000	23,563,399	163,368	0.7%
大分市	472,898	44		10,748	641,000	218,441,539	880,964	0.4%
別府市	112,091	25		4,484	463,000	63,233,071	334,864	0.5%
中津市	81,524	24		3,397	388,000	46,251,435	261,997	0.6%
日田市	60,207	22		2,737	382,000	39,918,822	235,119	0.6%
佐伯市	64,450	22	R7.4~	2,930	387,000	47,074,505	274,922	0.6%
津久見市	14,980	12	R5.4~	1,248	325,000	12,369,200	108,169	0.9%
竹田市	18,917	14	R7.4~	1,351	340,000	19,751,121	148,521	0.8%
豊後高田市	21,748	16		1,359	390,000	17,305,835	153,071	0.9%
杵築市	26,153	18	16(R9.4~)	1,453	323,000	20,348,733	161,205	0.8%
宇佐市	51,995	21	R5.4~	2,476	355,000	34,817,659	206,482	0.6%
豊後大野市	31,998	16	R7.4~	2,000	340,000	28,433,296	181,463	0.6%
由布市	33,521	18	R3.10~	1,862	330,000	22,154,316	159,347	0.7%
国東市	25,074	18	16(R8.4~)	1,393	320,000	25,006,286	166,343	0.7%

※参考 県内3町の状況

自治体名	人口 (R6.12.31) (人)	議員定数(人)		議員報酬 (一般議員) (円)
		現状	今後	
日出町	27,829	16	14(R8.4~)	345,000
九重町	8,302	12		250,000
玖珠町	13,802	14	12(R9.4~)	262,000

④ 類似の団体の状況(平均値) ※参照元 市議会議員定数に関する調査結果(R6.12.31時点)

概要	人口 (R6.3.1)	議員定数	議員一人当 たり人口
人口及び産業構造が類似している団体(82団体)	34,918	16.09	2,171
人口5万人未満(300団体)	32,901	16.77	1,962

⑤選挙公営制度

(1)選挙公営制度とは？	立候補の機会や候補者間の選挙運動の機会均等を図るなど、立候補しやすい環境を整えることを目的に、候補者の選挙運動にかかる費用の一部を公費で負担し、選挙の公平性を保つ制度				
(2)具体的な公費負担例	選挙運動用自動車の使用に係る費用、選挙運動用ポスター、ビラの作成費用など (臼杵市はポスター掲示場の設置料や選挙公報の発行費用については既に公費負担)				
(3)導入した場合の公費負担限度額(市が負担する上限額)の試算 (R7.4.1現在)					
	公費負担限度額 (立候補者1名につき)	ア. 選挙運動用自動車の使用に係る費用	イ. 選挙運動用ポスター作成費用	ウ. 選挙運動用ビラ作成費用	エ. 合計
		254,100円	419,818円	30,920円	704,838円
(4)導入した場合の必要概算予算額					
	(22名が立候補した場合)	必要予算額(概算)			
		約16,000,000円			
<small>※ 選挙年のみが発生する費用のため、基本4年に1度の公費負担です。 ※ あくまで概算です。ア.の選挙運動用自動車をバスやタクシー会社に委託した場合等契約形態によって金額は変動します。</small>					

⑥政務活動費

(1)政務活動費とは	議員の公務に必要な調査研究やその他の議員活動に資するための必要な経費に対して支給される公費	
(2)具体的な活用例	議会報告の作成・配布費用、政策調査のための資料購入費、視察や研修への参加費用、住民相談活動に係る経費など	
(3)導入した場合の財政負担額試算		
	1名につき10,000円/月支給する場合	定数18名と想定した場合
	1名につき20,000円/月支給する場合	
		年間2,160,000円
		年間4,320,000円

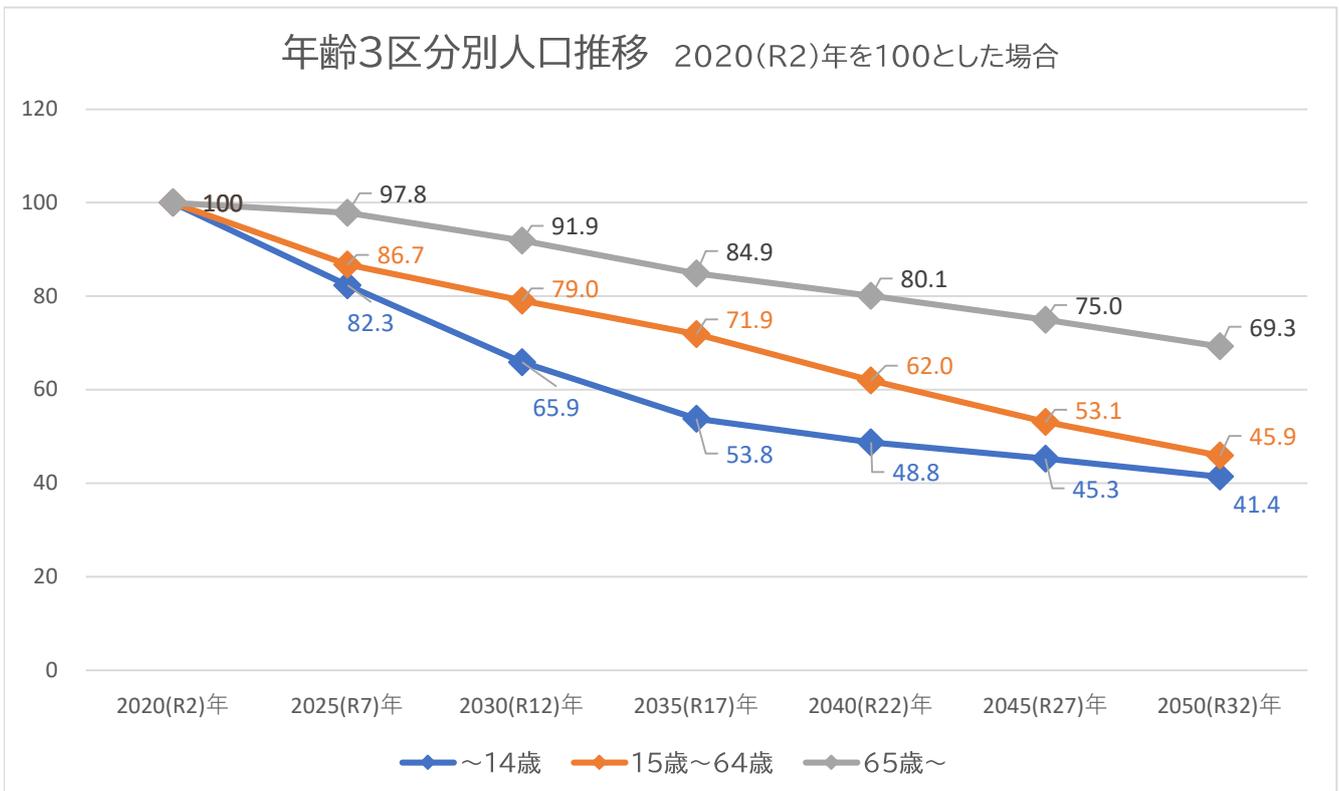
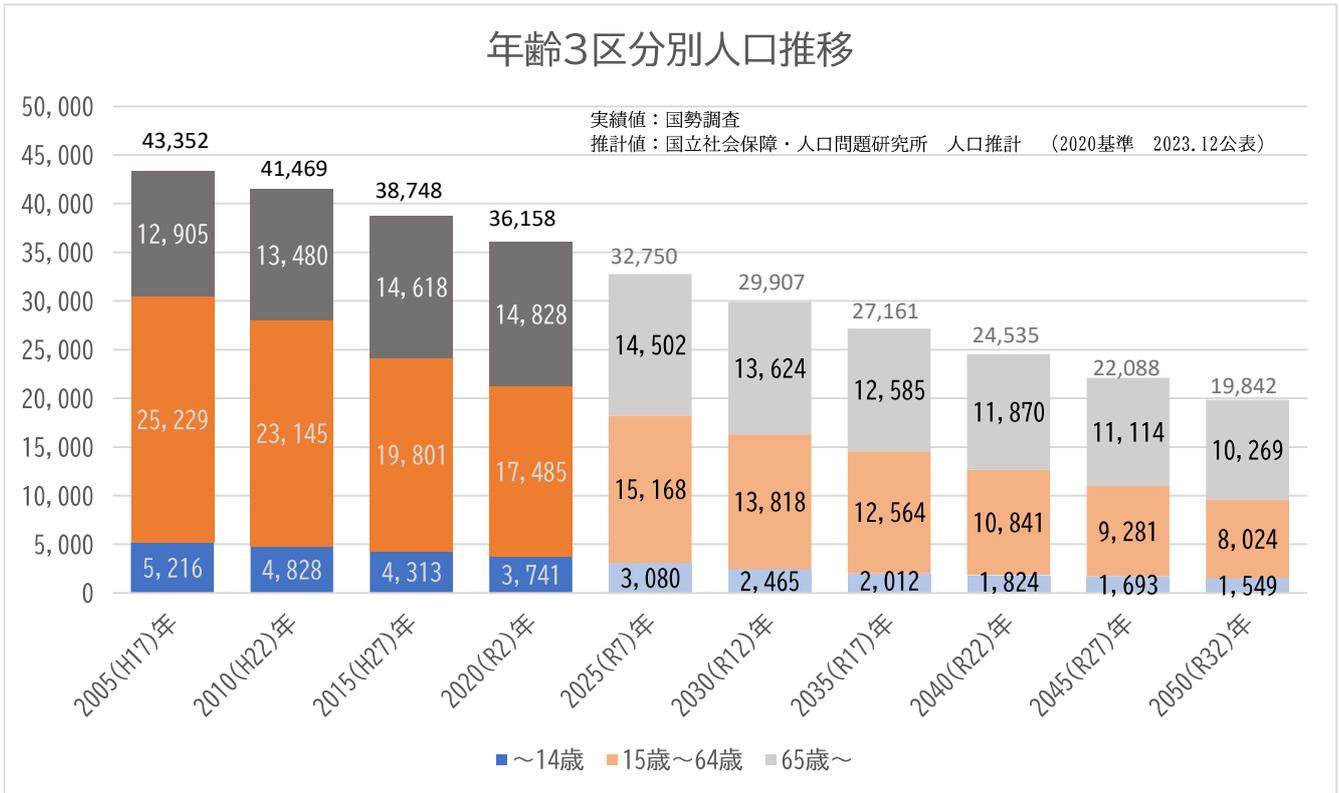
⑦県内各市の選挙公営制度及び政務活動費の導入状況

(R7.4.1現在)

自治体名	選挙公営制度					政務活動費	
	選挙公報の発行	選挙運動用自動車の使用に係る費用	ビラの作成費用	ポスターの作成費用	ポスター掲示場の設置費用	年額(円)	規定額
臼杵市	○	×	×	×	○	支給なし	
大分市	○	○	○	○	○	1,200,000	10万円/月
別府市	×	○	○	○	○	480,000	4万円又は2万円/月
中津市	○	○	○	○	○	240,000	2万円/月
日田市	○	○	○	○	○	240,000	2万円/月
佐伯市	×	○	○	○	○	200,000	20万円/年
津久見市	○	×	×	×	○	支給なし	
竹田市	○	○	○	○	○	180,000	18万円/年
豊後高田市	×	○	○	○	○	200,000	20万円/年
杵築市	×	×	×	×	○	180,000	18万円/年
宇佐市	×	○	○	○	○	240,000	2万円/月
豊後大野市	○	○	○	○	○	204,000	20.4万円/年
由布市	○	×	×	×	○	支給なし	
国東市	○	×	×	×	○	144,000	1.2万円/月
合計	導入済 9 団体	導入済 9 団体	導入済 9 団体	導入済 9 団体	導入済 14 団体	導入済 11 団体	

臼杵市の人口推計

(2020基準 2023.12公表 国立社会保障・人口問題研究所)



意見交換会后 議員定数等に関するアンケート 集計結果 No.1

問1. あなたの年齢を教えてください。

60歳代	3	23.1%
70歳代	10	76.9%

問2. 現状の議会活動について、どう思いますか。

非常に満足している	0	0.0%
ある程度満足している	6	46.2%
あまり満足していない	5	38.5%
全く満足していない	0	0.0%
どちらともいえない	2	15.4%

ある程度満足している理由・意見

- ・議員により様々
- ・議員の皆様、まじめな方が多いので安心できます。議員の不幸事がないように思う。
- ・今後、深く見つめていきます。
- ・〇〇地域は〇〇市議によく活動していただいています。
- ・地元議員の報告や振興協議会への総務委員会の視察など、地域の声を大切にすると姿勢見られる。西岡市長になって、より市民ファーストの白杵になってほしい(大期待)

あまり満足していない理由・意見

- ・地道に活動している議員はいると思うが、もう少し各地域での活動に見えるといい。(議員によると思うが)
- ・住民の意見を把握して、活動をお願いしたい。
- ・活動の内容が市民にきちんと伝わっていないと思う。
- ・見える化の推進

どちらともいえない理由・意見

- ・市議会でどのような議論(意見)がなされ、どんな結論になったのかの報告、お知らせがないと思う。市民は判断できにくいと考えます。
- ・議会の内容がTV放送であれば、市民に伝わると思う

問3. 今後の議会活動に期待することは。(複数回答可)

わかりやすい議会情報発信や、広報を充実してほしい	6	46.2%
もっと市民の意見、考えを市政に反映させる工夫・努力をしてほしい	10	76.9%
行政へのチェック機能をもっと果たしてほしい	5	38.5%
地域課題に即した政策提案を推進してほしい	10	76.9%
その他	0	0.0%

問4. 今の議員定数(18名)をどう思いますか。

多い	5	38.5%
適切	8	61.5%
少ない	0	0.0%
わからない	0	0.0%

多い理由・意見

- ・人口減少が進むので
- ・人口減少中、財政状況が厳しい中では、減らす必要があると思う。

適切な理由・意見

- ・活動範囲が広い
- ・田舎は効率が悪い
- ・今後は、見直す必要有りと思われる。
- ・多様な市民の意見を受け取り反映させるためには、ある程度の議員数は必要だと考えます。市の財政を大切にすることはありますが、活動する議員が多く出ることが大事だと思います。
- ・地区代表としては、18人ぐらい?
- ・地域の意見、要望をすい上げるためには、この位の人数は欲しい。但し、人口が減っているのでも、いつまでもこれでいいとは思わないが、例えばクォーター制を導入したらどうか。
- ・2030年(人口3万人を切るころ)に再検討してはどうか。
- ・振興協議会も18地区だし、議員の情熱があれば十分地区の声は聞けると思う。

問5. 議員定数は、最も何を基準とすべきと考えますか。

人口に見合った数	7	53.8%
面積に応じた数	1	7.7%
財政状況に応じた数	1	7.7%
他市と比較しバランスの取れた数	2	15.4%
その他	2	15.4%

- ・女性議員を4~5人程度にしてほしい。
- ・白杵市は18の地域振興協議会があり、それを中心にしてほしい。また、3万人をボーダーラインと考える。

人口に見合った数理由・意見

- ・人口減の中、人口2,000人に1人
- ・より多様な市民の意見をきちんと受けとめる努力をしてもらうために
- ・議員報酬を下げても人数(定数)は18で良いのでは。
- ・とりあえず、第1根拠にすべきと思うが、選択肢が一つではないと思う。
- ・最低振興協議会の数でよいと思うが、人口激減になれば再検討。
- ・他市の状況を参考にすべき、地域の代表であることから人口に見合う数とすべき。

面積に応じた数の理由・意見

- ・他地区とのバランス

他市と比較しバランスの取れた数の理由・意見

- ・何事も人並みが良いと思う
- ・他市と人口に見合った数

集計結果 No.2

問6.あなたが考える臼杵市の適切な議員数について教えてください。

① 現時点の適切な議員数は。

15人	1	7.7%
16人	5	38.5%
18人	7	53.8%

② 5年後(2030年)の議員数は。

10~12人	1	7.7%
14人	1	7.7%
15人	2	15.4%
16人	4	30.8%
18人	4	30.8%

※参考 ①現状から②5年後の変化の状況

変化なし	7	53.8%
増加	0	0.0%
減少	6	46.2%

問7. 選挙公営制度(選挙費用の一部を公費で負担する制度)についてお聞かせください。

現状どおりでよい	4	30.8%
他の自治体と同程度まで拡充すべき	7	53.8%
可能な限り拡充すべき	2	15.4%
全廃すべき(全て候補者負担)	0	0.0%
わからない	0	0.0%

現状どおりでよい理由・意見

- ・過大とは思わない。
- ・議会だよりのようなもの
- ・財政が厳しい臼杵市では、やむを得ないがお金のかからない選挙にならんのかなあ。

他の自治体と同程度まで拡充すべき理由・意見

- ・他市の状況を見た方がよい。標準が良い
- ・立候補しやすいように。
- ・適当な額かわからないので、とりあえずやってみたらどうか。立候補者が増えるといい。
- ・立候補しやすい環境づくりは、市民への政治への関心や投票率向上のために有効。ただし、全て公開とし、第三者によるチェックや違反時のルールを確立し、可能な限り、透明性を保つことが肝要。
- ・資金がない人でも、立候補が可能となるように負担を軽減すべき(女性も出やすくなる)

可能な限り拡充すべき理由・意見

- ・若者、女性に立候補してもらうための環境づくりのため

問8. 政務活動費についてお聞かせください。

現状通りでよい(交付なし)	2	15.4%
他の自治体と同程度の交付をすべき	9	69.2%
わからない	2	15.4%

現状どおりでよい理由・意見

- ・よくわかりませんが、必要と思われる
- ・必要経費を請求し、支給するのが良い。情報公開が必要。

他の自治体と同程度まで拡充すべき理由・意見

- ・上限を決めて活動にあわせて支払い
- ・議員活動はお金がかかる
- ・会計報告を正確にし、残金は返却するなどの条件をつけて、市議会議員としての活動を支援するため
- ・活動の日割りで(2万円程度)
- ・議員の公務に必要な経費は公費として支給は必要と考えます。金額は、月1万円からとし、可能な限り透明性を保つこと。全て公開とし、第三者のチェックや違反時のルールを確立し、透明性を保つことが肝要。
- ・支出明細を明確にした上で(ルールを整理して)交付を考えても良いと思う。ただし、財源は考えてほしい。
- ・他地区があって、臼杵にない事はおかしいので、ただし、渡しきりにならない様にする。

わからない理由・意見

- ・月240円程度で効果があると思えないが、使用目的がはっきりしないので、用途をはっきり決めたらどうか。
- ・何もしない議員も一律にもらえるので、頑張った人が領収書を提出して、精査して支給してあげた方がよい。

問9. 本日の意見交換会はどうでしたか。

有意義だった	11	84.6%
有意義ではなかった	0	0.0%
わからない	2	15.4%

問10. このような意見交換会の開催についてお聞かせください。

継続して開催してほしい	8	61.5%
必要に応じて開催すればよい	5	38.5%
あまり必要性を感じない	0	0.0%
わからない	0	0.0%

集計結果 No.3

問11. その他、議会に対してのご意見などがあればご記入ください。

- ・20～30代の市民の声を反映するため、若者の議員を出すための工夫、仕組み、あわせて、女性が4～5割になるような制度設計も必要ではないか。
- ・議員としての活動を頑張ってください。
- ・各地区、区長会との意見交換を。
- ・楽しい議論を聞くことができる、何か1つのテーマで話をするのがいいですね。もう少し時間があるといい。
- ・政務活動費は必要と思うが、それだけの活動報告(議員)はしっかりと市民に表示する必要があると思う。
- ・議会のケーブル生放送大賛成です。市民も市政に監視を持つようになると思います。昔は、やめるまで一回も質問をしない議員がいたのを知っています。今の議員は、全くそんなことがないので、頑張っていると思います。体に気をつけて、市民のために頑張ってください。
- ・意義のある交換会であった。

<議員定数等に関する議員アンケート（集計）>

(1) 議員定数について

① 議員定数を検討する上で、基準と考える要件(一人 3つまで 選択)

回答	回答数
人口	15
市民の意見	9
報酬等の議会費用	10
面積	0
討議できる人数(委員会等の数)	7
世代や性別など議員の多様性	5
地域振興協議会等、自治組織の数	2
議会等でのこれまでの議論の経緯	4
過去の選挙結果(無投票等)	2
その他	0

② 現時点での臼杵市議会に望ましい議員定数は？

回答	回答数	理由・根拠 (順不同)
16	5	<ul style="list-style-type: none"> ○(同回答2名)①～③ ①平成26年から約10年間見直しを行っていないこと。 ②人口推移(議員一人あたりの市民数) ※人口を目安に考えることが何より重要!! 大幅な人口減少(10年間で約7,600人の減) 人口を議員18人一人あたりに換算すると…平成26年は2,285人。令和6年は1,863人 2人減らして16人一人あたりに換算すると…令和6年では2,096人 ③他市の状況、全国の類似団体と県内(由布市や豊後大野市)などの動向 豊後大野市18人⇒16人 竹田市16人⇒14人 津久見市14人⇒12人 佐伯市25人⇒22人 宇佐市23人⇒21人 ○著しい人口減少の中、同規模の近隣自治体では、2名程度減員している。 ○現18名と設定した時の人口比からとらえると「15」が適切と考えるが、議会運営を考慮すれば「16」が適切と考える。 ○根拠の記載なし(1名)
18	13	<ul style="list-style-type: none"> ○地域からの意見が通る数である。 ○現況 特になし ○類似団体比較において妥当な定数と思われる。また、常任委員会の機能維持及び議論の活性化並びに特定の団体組織等に依らない多様な民意を反映する観点からも現行の定数が望ましいと考える。 ○現在の定数は人口割合からすればギリギリのラインではあるが、幅広い意見集約が出来る。 ○これまでも選挙において定員を越す立候補者がいたこと。 ○現状をふまえて ○人口 ○これ以上の定数削減は少数意見の切りすてに繋がり、民意の反映をより困難にする。逆に首長の力を強化してしまうおそれがある。 ○人口規模の現状と報酬等の費用などから現定数で良いと考える。 ○3つの委員会での討議に適切な数である。 ○次期選挙に対して新人の方々が出馬しやすい状況が必要 ○地域振興協議会、消防団の数と同数 ○現状の委員会構成を維持するため

③ 5年後の臼杵市議会に望ましい議員定数は？

回答	回答数	理由・根拠
15～16	2	<ul style="list-style-type: none"> ○臼杵市の人口推移を見ると2030年は約29,900人と2025年より更に3,000人の減少と予想されている。議員一人あたりの市民数に換算した場合、15～16人が望ましいと思う。(同回答2名)
16	8	<ul style="list-style-type: none"> ○国勢調査の人口による。現在の報酬では若い世代は厳しいのでは。 ○人口減少は進むが、議会運営を考慮して ○人口が3万人前後となることが推計されていること。 ○人口減少は進むが、議会運営を考慮して ○人口に合わせる必要性が出てくる。 ○人口減少に伴い削減はやむを得ない。 ○人口割等 ○根拠の記載なし 2名
16～17	2	<ul style="list-style-type: none"> ○絶対ではなく、可能性は高い ○人口減のため。現行のシミュレーションでは、人口3万人を割る見込み。
16～18	2	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少の要因も加味しながら判断すべき状況も考える。 ○有権者数と経済状況
18	3	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの意見を得るため、多い方が良い。 ○根拠の記載なし 2名
21	1	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少が進む中、民意を反映させる為と地域の担い手としての定住を進める上である程度の議員数は必要と考える。

(2) 選挙公営制度について
・現時点での制度の導入について

回答	回答数	理由・根拠
導入	12	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの自治体で導入されている。また、費用の事で立候補を躊躇する人が出てはならない。より多くの人から選挙に出てほしいから選挙公営制度は必要と考える。(同回答2名) ○特に新人が立候補するときに負担軽減となり、選挙に出やすくするため ○立候補者の負担軽減を図るため ○時代に合わせる ○議員のなり手不足の要因の一つとして、選挙に係る費用が多額に上がることが挙げられる。政治参加に対する意思を持つ者が立候補し易い環境を整える観点から公営制度の導入を図るべきと考える。 ○県下自治体での導入が進んでいる。選挙に出やすくするため。 ○新人候補も含め、立候補しやすい環境の整備は必要だと考える。 ○現状では、候補者の負担が大きく、女性や若者など新たな人材が立候補しづらい。他市に比べて遅れている。早急に制度を導入すべき。 ○選挙にかかる費用等、議員報酬額との整合制の理由がわからない ○選挙自体にお金がかからないで、誰でも出れるように。 ○根拠の記載なし 1名
現状通り	5	<ul style="list-style-type: none"> ○現時点では現状通りで。 ○定数削減時に検討事項としてはいかがか。 ○将来的には導入 ○根拠の記載なし 2名
その他	1	○記載なし(選択肢・理由の両方)

(3) 政務活動費について
・現時点での制度の導入について

回答	回答数	(理由) ※その他の内容含む
導入	11	<ul style="list-style-type: none"> ○全国、また大分県内の状況をもみても殆どの市町村で導入されており、議員活動をする上で必要な経費と思うから。金額については、類似の市町村(竹田・杵築・豊後大野市)を参考にした金額で月15,000円 年180,000円が妥当と考える。(同回答2名) ○他市でも多く導入しており、活動にかかる経費を考慮していただきたい。 ○議員研修ができる(旅費)。講演会だよりができる(印刷費)。通信費。 ○充実した政務活動を行うことにより、臼杵市の発展に寄与するため。 ○現時点では24万円(月2万円)。次の次の選挙から定員を増加し、その後、報酬を35万円から20万円に下げ、政務活動費を月額15万円に上げ、合計最高額として35万円とする。現状では経費がゼロ計算となることから、今後は経費を政務活動費からも捻出する方法を検討したい。 ○市民、有権者への議員としての広報活動、議員活動に必要な研修、調査のための費用。 ○現状では、調査等にかかる費用が厳しい。 ○議員が政治活動をより豊かにできるように必要がある。広報、研修、調査研究のため ○議員活動において出費が多い ○議員報酬のアップがなければ、導入。
現状通り	6	<ul style="list-style-type: none"> ○皆に合わせる。 ○必要性を感じない。 ○将来的には導入 ○現時点では現状通りで。 ○現状の報酬は、生活給の全体ではないので、今のままが活動費だと思う。 ○根拠の記載なし 2名
その他	1	○政務活動費については将来的に必要と考えるが、現状においては、政務活動のあり方について、研修等を兼ね、議員の共通認識を形成することが先決ではと考える。

※導入した場合の年額

年額	回答数
12万円	2
18万円	2
20万円	1
24万円	3
60万円	1
金額 記載なし	2

(4) 費用弁償(本会議等の出席に係るもの)について

回答	回答数	(理由) ※その他の内容含む
変更	1	○ガソリン代の高騰
現状通り	17	<ul style="list-style-type: none"> ○費用弁償は市役所職員に準じているので現状通りで良いと思う(同回答2名) ○職員と同じで・・・ ○特に問題がないと思われる。 ※根拠の記載なし 13名
その他	0	

(5) 事務局職員数について

回答	回答数	(理由) ※その他の内容含む
4人	2	<ul style="list-style-type: none"> ○現状でよい。委員会(割り当て) ○根拠の記載なし 1名
4~5人	1	○今以上の活動を行う場合のみ、増すことは必要と考える。
5人	5	<ul style="list-style-type: none"> ○業務が多忙を極めていると思う。 ○現状でよい。デジタル化により効率を上げられる。 ○根拠の記載なし 3名
5~6人	1	○議会の活性化には不可欠。いずれも正規職員が望ましい。
6人	1	○3委員会+特別委員会(2名)+局長=6
7人	1	○議会資料等の事務補佐をお願いしたい。
不明	3	<ul style="list-style-type: none"> ○事務局員数については執行部(総務課)が決めることで、議員が議論すべきことではないと思うから(同回答2名) ○現状の事務負担に適した数として、事務局で示していただきたい。
現状通り	4	<ul style="list-style-type: none"> ○類似団体比較において、現状が妥当な職員数と思われる。人口減少が進む中で、少ない職員数でいかに行政サービスを維持するかが、市役所全体の課題であり、議会事務局も例外でない。DX等の取り組みにより事務の効率化を図るとともに、研修等により個々のパフォーマンスの向上に努めてもらいたい。また、議会開催時等繁忙期における他課と連携、支援等についても、予断なく検討してみたい。いかがだろうか。 ○特に問題がないと思われる。 ○根拠の記載なし 2名